

## 【伊勢原市】

### 校務DX計画

#### 1. GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリストによる自己点検結果

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」（令和5年度）に基づく自己点検結果（確定値）より、本市の達成状況の得点は次のとおりである。

	達成状況得点（満点）	神奈川県全域平均得点
学校	253.1（1020）	352.5
学校設置者	250（540）	241.9

学校設置者においては神奈川県全域平均得点を上回っているものの、学校では県の平均得点を下回っていた。その理由として以下が考えられる。

#### GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト （学校向け）

No.	質問項目	回答	割合
2	業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡事項について、クラウドサービス等を用い、PC・モバイル端末等から受けつける体制を整えていますか。	整えていない	92.9%
6	保護者との日程調整をクラウドサービスを用いて行っていますか。	全くしていない	71.4%
7	学校説明会や保護者面談などにオンライン形式を取り入れていますか。	全く取り入れていない	100%

校務DXの取組として、職員間の情報共有や連絡においては、クラウドサービスを取り入れた活用が進んでいる一方、保護者との連絡、面談等では、依然としてDX化が進んでいない状況である。この結果を受け、本市では今年度から学校と保護者の連絡が電話以外でも受け付けられるよう、LINEの運用を実証校にて開始した。

また、保護者との面談調整や学級編成等の作業時間を削減できるよう、現在導入されているクラウドサービスを活用しつつ、新たなシステムの導入も視野に入れ、校務DXに向けた改善を図る。

## 2. 「教育DXに係るKPIの方向性」への対応状況と対策

「教育DXに係るKPIの方向性」への対応状況として、「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」（令和5年度）に基づく自己点検結果（確定値）より、本市の状況は以下のとおりである。

GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト  
(学校向け)

No.	質問項目	回答	割合
1	児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計していますか。	全くして いない	57.1%
30	業務にFAXを使用していますか。	使用して いる	100%
31	保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類はありますか。	ある	92.9%

GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト  
(学校設置者向け)

No.	質問項目	回答
18	自治体のセキュリティポリシーとは別に、教育情報セキュリティポリシーを教育委員会独自に策定していますか。	策定している

これらの結果をもとに、「教育DXに係るKPIの方向性」に記載のある目標値を達成するため、下記を検討・実施する。

- ・FAXを利用した書類のやり取り、及び、業務において押印・署名が必要な書類を電子化等することを目指す。
- ・校務支援システムへの手入力作業の負担を軽減すべく、児童生徒の出欠席情報の入力等、校務支援システムと連携した仕組みを検討していく。
- ・教育情報セキュリティポリシーにおいては、本市を取り巻く社会の変化、国の制度や動向等に対し柔軟に対応するため、校務環境の次期更改に併せて改訂を実施していく。

### 3. ICT推進体制の強化

本市では学習者用端末が整備される前から、ICT支援員を派遣し、校務支援等を実施してきた。GIGA第2期以降は、校務DXや学習者用端末の活用をより推進すべく、ICT支援員によるオンライン支援や活用研修の充実を図る等、ICT推進体制を強化していく。

また、GIGA第1期では、定期的に情報担当者会を実施し、教育委員会からの情報発信や、情報担当者からの意見集約を実施してきた。第2期においても引き続き情報担当者会を実施し、学校現場の意見も取り入れながらICT環境整備を推進していく。

### 4. 校務系ネットワーク・システム等の再構築に向けた検討

校務環境においては、グループウェアや校務支援システムをクラウド基盤に構築し、ファイルサーバー等は庁内に設置し運用する、ハイブリッド型になっている。

文部科学省が示す次世代校務DXへの対応は、校務用パソコン及びサーバー機器等の契約期間等も関係していることから、短期間では困難な状況にある。

引き続き次世代校務DXに向けた取組を意識し、教育DXに係るKPIを踏まえたうえで、次期更改に向けて、校務系・学習系のネットワーク統合、クラウド化を視野に検討し、校務系・学習系システムのデータ連携や、校務のロケーションフリー化を目指していく。